



地域コンソーシアムによる高等学校の魅力化

資料 7

地域コンソーシアムとは

学校・行政・産業界等が一体となって、高等学校の魅力化や地域で育てる人材について考え、現状・課題を共有し、高等学校の魅力化・地域の活性化に資する目標を立て、実現するための計画を策定する。この計画に基づく取組に多様な主体が参画し実行する協働体。

現 状

- 中山間地域の高等学校は、地域の人材を育成するほか、地域振興においても重要な役割を果たしている。
- 中山間地域では特に、人口減少が進み少子高齢化が進行している。
- 中山間地域の高等学校は、少子化に加え地域の中学生が地元高等学校へ進学する割合も低く、生徒数が減少している。
- 高等学校や市町村は、生徒数の確保に向け、学校の魅力化に向けた様々な取組を行っている。

課 題

- 若者が地域外に出ていくことで、地域の担い手となる人がいない。
- 高等学校や市町村の**取組が地域で共有されておらず**、一部関係者のみの取組となっている。
- 高等学校の魅力化に向けたビジョンが描かれていない。
- 見えてきた課題：学校と地域で、高等学校の魅力化に向けた**取組のベクトルがあていない**

R3地域・魅力化プラットフォームによる分析結果

課題への対応

地域コンソーシアムの構築

- 現状・課題を共有し、高等学校の魅力化、地域の活性化に資する対策を協議
- 計画作成
- 役割分担により取組実行

行政

- ・ 高校を核とした地方創生
- ・ 学校のビジョンを地域へPR
- ・ 学校と協働した事業推進



地域コンソーシアム

地域(産業界等を含む)、行政と高校の連携体制



学校

- ・ 地域の資源を活用した活動
- ・ 学校ビジョン作成

地域 (産業界含む)

- ・ 学校活動への協力
- ・ 地域、産業の紹介

地域コンソーシアムの活動内容



地域コンソーシアム会議

① 共有

- ・ 地域の現状・課題
- ・ 学校の生徒活動・課題

② 計画

- ・ 学校魅力化のための取組を協議
- ・ アクションプラン策定

○ 学校・行政・地域が役割分担(予算・実行組織)

③ 実行

- ・ アクションプランの実行

- 実行組織による連携・協働
- 地域コンソーシアム会議で取組状況を確認し進捗管理

先行地域の取組事例 (嶺北高等学校)

■ 嶺北地域コンソーシアム (H30.3設置)

- ・ 嶺北高等学校魅力化の会
- ・ 嶺北高等学校魅力化推進協議会 (実行組織)

- ・ H28年度に、嶺北高等学校入学生が22名となる。
- ・ 本山町、土佐町、大豊町、大川村の4町村と嶺北高等学校が連携・協働して高等学校の魅力化を実現する取組を推進することとして組織される。

■ 取組内容 (抜粋)

取組項目	役割 (■学校 ◇地域・行政)	R5に目指す姿
グローバル化の推進	■ 海外留学、英検 ◇ English Club、海外留学支援	海外留学希望者 短期10名 長期3名
学力の向上	■ 英語CAN-DO運用、小中高連携の教科指導 ◇ 公営塾(ICT活用、AO入試対策)、中高連携	学力到達ゾーン A層10% B層20%
部活動の魅力化	■ カヌー部 カヌークラブ連携、早明浦湖での練習 ◇ カヌークラブ設置(クラブ生を高校へ)	カヌー全国大会入賞 部員10名
探究型学習・自主活動	■ 嶺北探究カリキュラム、課外活動、生徒会活動 による地域との関わり充実	主要学校行事を生徒会が主催する
生徒数確保	■ ◇ 地域みらい留学へ参加 ◇ 生活環境の整備(身元引受人・寮など)	地元進学率80% 地域外生徒10名

■ 生徒数の推移

年度	H28	H29	H30	H31	R 2	R 3	R 4
生徒数	22	29	17	37	34	32	42
みらい留学				8	7	9	10

地域みらい留學生徒数は内数

行政

- ・ カヌーアカデミー
- ・ 交流センター(寮)
- ・ 燈心嶺(塾)

地域

- ・ 嶺親の会